

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号

06010201

事業名		苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会補助				
担当部署		産業経済部農林水産振興課				
根拠法令		鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価 B 有効性 公平性 効率性
	予算・決算額(A)	6,006	5,721	6,500		
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	6,006	5,721	6,500		
人件費(B)	2,596	2,596	2,596			
事業費計(A+B)	8,602	8,317	9,096			
事業の目的		本事業は、鳥獣被害防止特措法、同法に則して市が策定する鳥獣被害防止計画に基づき、近年、深刻化している鳥獣による農林水産業に対する被害の防止策を総合的かつ効果的に推進し、もって農林水産業の発展及び農業地域等の振興に寄与することを目的としています。				
事業の内容		苫小牧市鳥獣被害防止対策協議会に対する補助等を通じ、同協議会が実施する鳥獣被害防止対策を総合的に支援しました。				
SDGs17の目標		令和7年度においても、近年、特に基大な被害をもたらしているエゾシカ対策に重点を置き、捕獲に用いるくくりわな（ワイヤー）の購入、苫小牧市鳥獣被害対策実施隊によるエゾシカの捕獲及び解体処理、農業者に対する侵入防止柵の購入支援等を実施しました。あわせて、市街地周辺におけるエゾシカの捕獲委託により、近年、増加が続いているエゾシカと車両との交通事故や市街地への出没等生活環境被害対策にも取り組んでいます。				
13気候変動に具体的な対策を						
14海の豊かさを守ろう						
15陸の豊かさも守ろう		具体的な対策				
		・エゾシカ捕獲用くくりわなワイヤーの購入				
		・エゾシカの捕獲委託				
		・捕獲したエゾシカの解体処理委託				
		・解体したエゾシカの残渣処分委託				
		・苫小牧市鳥獣被害対策実施隊技術講習会の実施（くくりわな等講習会）				
		・農業被害の防止を目的とした侵入防止柵の購入支援（電気柵・金網柵）				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		くくりわなによるエゾシカ捕獲	頭	608	509	594
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性			●			エゾシカの捕獲、侵入防止柵の設置支援など対策を講じており、継続実施しなかった場合、被害の拡大が懸念されるため評価を「3」としました。
効率性			●			エゾシカの活動が活発化する時期にあわせ市内の複数地点で同時に捕獲を実施するなど効率的にエゾシカを捕獲しており評価を「3」としました。
公平性		●				農業被害対策として市東部及び西部、生活環境被害対策として市中央部でシカの捕獲を行うなど、バランスを考慮しており評価を「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		北海道が公表しているエゾシカの推定生息数（令和6年度73万頭）は全道的に横ばいの状況であり、農林業被害額は約53億円と増加傾向にあります。本市では本事業によりエゾシカを一定数捕獲するとともに、侵入防止柵の設置支援など被害防止に努めていますが、依然としてエゾシカによる農林業被害が確認されており、本事業を継続的に実施しなかった場合、市内におけるエゾシカの生息数の増加及び農林業被害の拡大が懸念されます。今後も引き続き本事業を継続実施するとともに、国や北海道に対し、捕獲の強化や支援策の拡充等を要請してまいります。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室農業水産振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

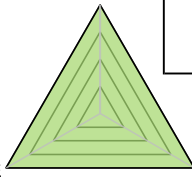
款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号

06010202

事業名		農業振興対策事業				
担当部署		産業経済部農林水産振興課				
根拠法令		農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、経営所得安定対策等推進事業実施要綱				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	10,623	10,421	8,682	有効性 公平性 効率性 	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	3,250	3,154	3,285		
	地方債					
	その他					
	一般財源	7,373	7,267	5,397		
人件費(B)	3,709	3,709	3,709			
事業費計(A+B)	14,332	14,130	12,391			
事業の目的		農業経営の安定化を図るため、苫小牧市地域農業再生協議会への支援を行うとともに、農業・農村が持つ多面的機能の発揮に向けた地域活動を推進します。また、JAとまこまい広域と連携した畜産・酪農の競争力強化や、草地の基盤整備による良質な粗飼料の確保を通じて担い手農家の育成を促進し、地域農業・酪農畜産経営の安定的な発展につなげます。				
事業の内容		1 苫小牧市地域農業再生協議会が行う活動に対する助成 農業経営の安定化を図るため、苫小牧市地域農業再生協議会が行う活動（経営所得安定対策制度の普及推進活動、対象作物、産地交付金の助成作物の作付面積等の確認事務等）に対し助成を行いました。				
SDGs17の目標		2 多面的機能支払交付金に基づく活動組織に対する交付金交付 多面的機能支払交付金に基づく活動組織として植苗・美沢地区に「植苗・美沢地区資源保全会」、樽前地区に「タルマイ会」をそれぞれ設立しました。各組織が活動目的を達成するために策定した計画を市が認定した上で、農用地の面積に応じた交付金を交付しました。各活動組織はこの交付金を活用し、対象地区内における草刈りなどの農地維持活動や花壇づくりなどの資源向上活動を実施しました。				
  		3 畜産・酪農競争力強化対策事業 平成27年度より、農林水産省の畜産・酪農競争力強化対策事業として、JAとまこまい広域が主体となった取り組みを開始しました。この事業は、個々の取り組みを個別に支援するのではなく、土づくりから自給飼料用種子の購入、自給飼料の生産・収穫、そして良質な自給飼料で育った子牛の保留までの一連の関連事業を一元化したものです。JAとまこまい広域畜産部がこれらの事業を実施し、苫小牧市が支援することで、連携して畜産・酪農経営の収益力強化を目指しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		苫小牧市地域農業再生協議会補助金	千円	96	99	109
		乳量	t	3,165	3,134	3,266
		肉用牛の飼養頭数	頭	544	505	477
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				農業経営の安定と農家の負担が軽減されたため「4」としました。
効率性		●				より優良な家畜を導入できる取組や補助を行うことで、農家の農業経営の安定向上に繋がったため、「4」としました。
公平性		●				酪農農家の多くがJA組合員であるため、全体に利益を享受できました。農地面積に応じた補助金は地域住民と取組を共有できたため「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		地域ぐるみで収益性・競争力の向上や自給飼料生産拡大を図るとともに、経営所得安定対策の適正かつ円滑な実施により農業経営の安定と生産力の確保につなげ、農村地域の多面的機能の維持・発揮に向けて関係機関や活動団体と連携しながら、必要な事業を継続してまいります。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		・経営所得安定対策等推進事業、多面的機能支払交付金事業、農業・畜産・酪農収益力強化対策事業が統合し、令和7年度からの新規事業となっております。 ・令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室農業水産振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号

06010203

事業名		就農者等支援事業				
担当部署		産業経済部農林水産振興課				
根拠法令		農業経営基盤強化法				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	10,896	10,896	23,000		A
	(A)の内訳					
	国道支出金	9,396	9,396	21,000		
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,500	1,500	2,000		
人件費(B)	1,854	1,854	1,854			
事業費計(A+B)	12,750	12,750	24,854			
事業の目的		新規就農者等に対し、農業次世代人材投資資金の交付や市独自の農業設備等に係る初期投資助成を実施することにより、資金面における負担の軽減を図るとともに、経営の安定化を通じて就農後の定着を促進します。				
事業の内容		SDGs17の目標 - 北海道農業次世代人材投資事業（経営開始型資金） 市内において、次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の新規就農者に対して、資金の交付を行いました。 - 新規就農者総合育成対策事業（経営発展支援） 市内において、次世代を担う農業者となることを志向し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等をする農業者に対して、資金の交付を行いました。 - 新規就農者等支援事業 市内の新規就農者等の経営に必要な資機材等の購入に対し、助成を行いました。 - 農地利用効率化等支援補助金 経営改善に取り組む場合に必要の農業用機械・施設の導入等を支援するため補助金を交付しました。				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		北海道農業次世代人材投資資金事業対象者	人	2	4	4
		新規就農者総合育成対策事業対象者	人	1	1	1
		新規就農者等支援事業対象者	人	2	3	3
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				経営の不安定な就農初期段階の新規就農者に交付を行うことで経営の安定化に寄与することができたため、「4」としました。
効率性		●				農作物の収穫量や農業所得が不安定な就農初期に交付を行うことで、農作業に集中して取り組める環境づくりに繋がっていると考えられるため、「4」としました。
公平性			●			新規就農予定者や、新規就農相談者ごとに事業説明及び交付要件等の案内をしており、対象者へおおむね事業を展開できていると考えられるため「3」としました。
事業の課題 今後の方向性		新規就農者の負担軽減を通じて新たな担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、引き続き本取組を継続して実施することにより、就農後の定着促進につなげてまいります。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室農業水産振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

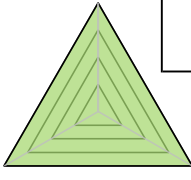
款 06農水産業費

項 01農業費

目 02農業振興費

事務事業番号

06010204

事業名		樽前交流センター改修事業				
担当部署		産業経済部農林水産振興課				
根拠法令		苫小牧市樽前交流センター条例				
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	842	841	-	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	842	841			
	人件費(B)	2,399	2,399	-		
	事業費計(A+B)	3,241	3,240	-		
事業の目的		供用開始から23年が経過し、経年劣化による損傷が生じていることから、修繕を行い、施設の長寿命化及び利用者の安全確保を目的としています。				
事業の内容		SDGs17の目標 1 正面玄関 外壁塗装タイル修繕 外壁タイルの浮き・剥離が進行しており、来訪者の転倒防止するため修繕を行います。 2 保健室裏口 モルタル補修及び手摺修繕 モルタルのひび割れによる雨水浸入及び手摺の腐食による転倒事故を防止するため修繕を行います。 3 トイレ裏口 タイル修繕 タイルの浮き・剥落が進行しており、来訪者の転倒防止するため修繕を行います。 4 和室裏口 屋根役物及びモルタル修繕 屋根役物の破損及びモルタルの劣化による雨漏りを防止し、建物の耐久性を確保するため修繕を行います。 5 多目的ホール裏口 タイル修繕及びコーキング打設 タイルの剥離及び目地の劣化が進行しており、剥離進行防止と防水性の回復を図るため修繕を行います。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	施設改修費		千円	-	-	842
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				施設出入口を整備することにより、利用者の安全性を確保することができたため、「4」としました。
効率性		●				施設の安全性及び機能保全のため、早急な対応に努めたことから、「4」としました。
公平性		●				施設利用者全体の利便性が向上したことから、「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		必要な修繕を行いました。経年劣化の状況から他の設備も更新の時期にきているため、計画的かつ効率的に更新していきます。				事業継続・終了等 事業終了（令和7年度）
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室農業水産振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

款 06農水産業費

項 02水産業費

目 01水産振興費

事務事業番号

06020101

事業名		苫小牧産農水産物プロモーション事業				
担当部署		産業経済部農林水産振興課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	3,513	2,994	4,263	有効性 公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金					
	地方債					
	その他	500	500	4,000		
	一般財源	3,013	2,494	263		
人件費(B)	1,854	1,854	1,854			
事業費計(A+B)	5,367	4,848	6,117			
事業の目的		漁獲量日本一を誇るホッキ貝を筆頭に苫小牧市では様々な水産物が水揚げされており、観光客の誘致や水産振興等が図られていますが、今後の更なる周知と消費拡大を目的とした事業に対する補助を行っています。あわせて、水産物だけではなく農産物にも興味を示してもらうため、農水産業者と都市住民の交流を図ります。				
事業の内容		1 ホッキまつり補助金 第12回苫小牧漁港ホッキまつりに対し、運営費の補助をしました。 2 苫小牧産水産物パワーアップ補助金 苫小牧産ホッキ貝の付加価値向上と消費拡大のため、販売用及びPR用商材の加工品の費用の一部を補助しました。 3 グリーンツーリズム展開事業 樽前の農業者が実施した都市住民との交流イベントに対し補助しました。 4 苫小牧産ホッキ貝等安定供給事業 苫小牧産のホッキ貝をはじめとする貝類において実施される貝毒検査に要する費用の一部を補助しました。 5 地域資源活性化推進事業 苫小牧商工会議所食品飲食業部会によって地域資源等を活用した商品や商材を活用し、生産者と事業者の交流や新たな商談などの機会創出、情報・知識の共有を図り、地域の食関連産業・飲食業の活性化と地産地消の促進を目的に開催する事業に対し、補助しました。				
SDGs17の目標		9 産業と技術革新の基盤をつくろう 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう				
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度
		苫小牧漁港ホッキまつり補助金	千円	600	900	900
		苫小牧産水産物パワーアップ事業補助金	千円	400	400	400
		苫小牧産ホッキ貝等安定供給事業	千円	－	936	813
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性			●			各種補助事業の実施により苫小牧産水産物の魅力発信におおむねつながったことから「3」としました。
効率性		●				関係団体への支援で、市内、市外へPRできるイベントが開催できていることは効率的であることから「4」としました。
公平性		●				関係団体の支援を実施することで、多くの市民へ農水産物の消費拡大を図れていることから「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		おおむね目的に沿った事業展開ができていますが、さらに道内、道外へ苫小牧産農水産物の普及や消費拡大につなげる必要があると考えており、今後も事業を継続してまいります。				
		事業継続・終了等				
		事業継続				
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室農業水産振興課				

事務事業評価（主要事業レビュー）【一般会計】

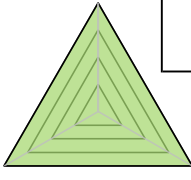
款 06農水産業費

項 02水産業費

目 01水産振興費

事務事業番号

06020102

事業名		水産業振興対策事業【繰越明許】				
担当部署		産業経済部農林水産振興課				
根拠法令						
予算・決算 (千円)	区 分	R7年度予算現額	R7年度決算	R8年度当初予算	項目評価	総合評価
	予算・決算額(A)	79,850	79,162	-	有効性  公平性 効率性	A
	(A)の内訳					
	国道支出金	74,850	74,162			
	地方債					
	その他					
	一般財源	5,000	5,000			
	人件費(B)	1,854	1,854	-		
	事業費計(A+B)	81,704	81,016	-		
事業の目的		苫小牧漁業協同組合が所有する漁船等の定期的な保守点検及び修理や緊急点検等を行うための老朽化が進んでいる上架施設の改修を行います。また、近年の漁船等の大型化に伴い大型漁船等も対応可能となるように改修を行います。				
事業の内容						
SDGs17の目標						
  		既存の上架施設老朽化のため苫小牧漁業協同組合が事業実施主体となり、改修工事等を実施しました。なお、当該施設は地元漁業者に限らず、苫小牧漁港区を利用する道内外の漁業者の漁労活動等に影響があるため、早急な施設整備が求められていたものであり、水産振興の観点からも道支出金および市費による補助金を支出しました。				
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R5年度	R6年度	R7年度
	苫小牧漁港区上架施設整備補助金		千円	-	-	79,162
項目評価		高 → 低	評価の理由			
		4 3 2 1				
有効性		●				老朽化対策の結果、海上の安全操業に繋がることから「4」としました。
効率性		●				地区内において漁船の点検・補修整備が可能となるため、他港利用していた大型船移動コスト（燃料費、人件費等）等の削減につながり、作業効率が改善されることが期待されるため「4」としました。
公平性		●				地元漁業者に限らず、苫小牧漁港区を利用する道内外の漁業者の漁労活動等につながるため「4」としました。
事業の課題 今後の方向性		上記事業は本年度で終了となりますが、今後も関係機関や活動団体と連携しながら、水産業の振興につながる必要な事業を模索してまいります。				事業継続・終了等 事業終了（令和7年度）
特記事項		令和7年度担当部署は産業経済部産業振興室農業水産振興課				